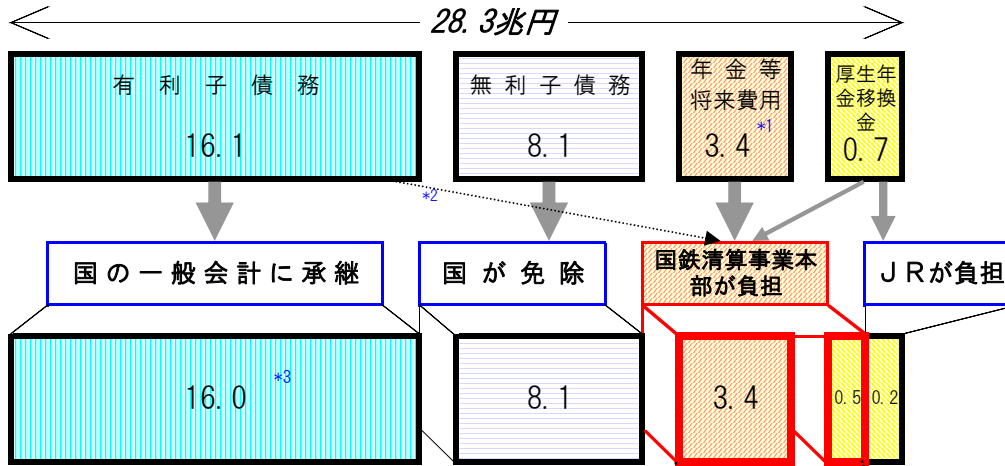


# 国鉄長期債務の処理及び事業の収支構造

## 日本国有鉄道清算事業団解散時における長期債務残高とその処理

平成10年10月22日当時

(単位：兆円)

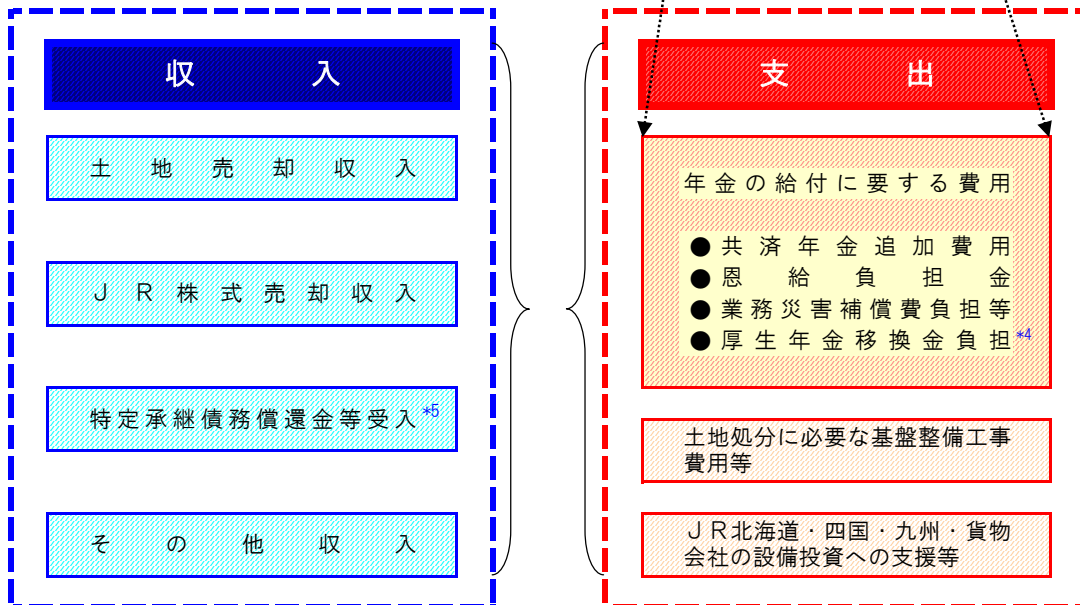


\*1 将来発生が見込まれる年金等負担を債務に置き換えて評価した額です。総支払額としては約6.5兆円にのぼると見込まれていました。

\*2 有利子債務のうち、本州四国連絡橋公団債務(約205億円)及び日本鉄道建設公団債券債務(約42億円)については、国鉄清算事業本部が承継しました。

\*3 四捨五入の関係で0.1兆円減

## 国鉄清算事業の収支構造



\*4 平成19年度以降の実績は、0円となっています。

\*5 国鉄改革の際に旧国鉄が旧新幹線保有機構から得た債権(新幹線鉄道施設の再調達額と簿価との差額(当時)約2.9兆円)に係わる収入を引き継いだものです。